

< 「統計ヘッドライン—統計局月次レポート」 正誤表 >

※「過去掲載分」については、以下のとおり修正済みです。

◆ 「統計ヘッドライン—統計局月次レポート」 No.28 平成24年6月」

P2 【今月の話題】 1世帯当たりの貯蓄現在高と負債現在高

誤 通貨性預貯金は増加傾向

- ・二人以上の世帯について1世帯当たり貯蓄現在高を貯蓄の種類別にみると、定期性預貯金が715万円と最も多く、次いで「生命保険など」が386万円、通貨性預貯金が317万円、有価証券が209万円、金融機関外が37万円

貯蓄現在高は年齢階級が高くなるほど多い

- ・60歳以上の世帯の貯蓄現在高2159万円は、30歳未満の世帯の285万円と比べ7.6倍

正 通貨性預貯金は増加傾向

- ・二人以上の世帯について1世帯当たり貯蓄現在高を貯蓄の種類別にみると、定期性預貯金が716万円と最も多く、次いで「生命保険など」が386万円、通貨性預貯金が317万円、有価証券が209万円、金融機関外が37万円

貯蓄現在高は年齢階級が高くなるほど多い

- ・60歳以上の世帯の貯蓄現在高2160万円は、30歳未満の世帯の285万円と比べ7.6倍

(図) 貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移(二人以上の世帯)

平成23年 定期性預貯金 誤：715 正：716

(図) 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

60歳以上 貯蓄現在高 誤：2159 正：2160